

総評

一般社団法人日本膜構造協会では、令和6年度から膜構造デザイン賞、技術賞、環境貢献賞の3つの賞を新たに設けて表彰を行うこととなった。

膜構造デザイン賞は、膜構造の新たな方向性を示す優れたデザインや、美しく意匠性に優れたデザインなど、その設計やデザインにより膜構造の発展・普及への貢献があると考えられるもので、実際に建設されたものを対象とする。技術賞は、膜構造、膜材料等に関する技術で、これらの発展・普及に貢献があると考えられるものを対象とする。環境貢献賞は、膜材料の生産、膜構造の設計、施工、維持管理、リサイクルやリユースなどの分野において、環境に配慮し、低炭素社会へ貢献する取り組みを対象とする。

第1回目となる今回は、デザイン賞に11作品、技術賞に5件、環境貢献賞に3件の応募があった。選考は、学識経験者3名を含めた11名の委員で実施した。各賞の受賞作品は、いずれも膜構造の多様性と適用範囲の広さ、今後の発展性を示す優れた内容であった。膜構造は、明るく、軽快で、自由な曲面や大きな空間を効率良く安全につくることができる。この賞を通じて、膜構造によるデザイン、低炭素社会実現のための環境貢献、膜構造および膜材料を用いた技術のさらなる普及が望まれる。

表彰委員長 河端昌也